

シラバス参照

講義名	通訳トレーニング		
(副題)			
講義開講時期	春学期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2時限
実務経験の有無	有		
実務経験の内容	外資系エアライン機内通訳者、フリーランスビジネス通訳者（様々なビジネスシーン、会議、視察等での通訳）		
対象	商学科・国際コミュニケーション学科2年次		
備考	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 本多 美保子	特任

★学習到達目標	通訳のための初歩トレーニングを行います。英語訳、日本語訳ができる力をつけ、総合的な英語力を発揮できるようになるとともに、世界の動向にも目を向け、国際性を育みます。
★授業概要	グローバル化に伴い、通訳が活躍する場は多くあります。英語から日本語へ、日本語から英語へ訳すという通訳のトレーニングを通じて、英語と日本語の言語構成の違いを理解し、より自然な訳ができるように練習していきます。
★学修成果・DPとの関連性	総合的英語力産業界に活かし得る実務能力国際的視座から活躍しようとする意欲/多様性を踏まえたコミュニケーション力

★授業計画表				
回	項目	内容	予習	復習
第1回	通訳の仕事とは	シラバス説明、通訳者にはどんな活躍の場があるのか確認します。	通訳の仕事について考えます。	通訳の仕事に関して自分が抱いていたイメージと実際のギャップをよく理解します。
第2回	通訳手法	通訳手法：逐次、ウィスパリング、時差、同時、各手法の違いを学びます。	通訳の手法には違いがあるのか考えます。	通訳演習を繰り返します。
第3回	英語・日本語逐次通訳ノートテイキング	短いトークを英語から日本語へ逐次通訳をします。また、逐次通訳に必要なノートテイキングの練習をします。	教科書のボキャブラリーを調べます。	逐次通訳演習の復習をします。
第4回	日本語・英語逐次通訳ノートテイキング	短いトークを日本語から英語へ逐次通訳をします。また、ノートテイキングをして、通訳する練習をします。	教科書のボキャブラリーを調べ、暗記します。	ノートテイキングの練習をします。
第5回	イラストを英語で描写（日本語→英語）	イラスト展開でストーリーをわかりやすく英語で伝えるにはどうすればよいか学びます。	教科書のボキャブラリーを調べ、暗記します。	イラスト描写のコツを復習します。
第6回	グループワークを通じて様々なパターンのイラスト展開説明（英語→日本語）	イラスト展開説明をする際の人物の位置や動作の表現を学びます。	イラスト展開説明をする際に自分ができないところをピックアップします。	位置や動作の表現の復習をします。
第7回	応答練習（日本語→英語）	簡単な問いに対して、すぐ答えられるよう訓練をします。	簡単な問いを考えます。	応答のコツを復習します。
第8回	イベントやセミナー、ワークショップの案内（英語→英語）（英語→日本語）	自分が案内係になったと想定し、イベントやワークショップなどに関して、資料を見ながら、相手の質問に答える練習をします。	イベントやセミナーを案内する言い回しを調べます。	資料を見ながらイベントを説明するときのコツを復習します。
第9回	提示された情報に基づく応答練習（英語→英語）（英語→日本語）	様々なパターンで案内をする練習をします。	提示された情報を素早く読み取る練習をします。	提示された情報に基づく応答のコツを復習します。
第10回	日本文化紹介（日本語→英語）	日本文化の紹介をします。	紹介したい日本文化を調べます。	日本文化を紹介するときのコツを復習します。
第11回	日本の観光地紹介（英語→日本語→英語）	日本の観光地を紹介をします。	紹介したい日本の観光地を調べます。	様々な観光地紹介を練習をします。

第12回	自分の意見を述べる練習 (英語→日本語)	特定のテーマに関して、自分の意見を1分間で述べる練習をします。	英語で自分の意見を分かりやすく説明するにはどうすればいいか考えます。	様々なテーマで自分の意見を言う練習をします。
第13回	自分の意見をわかりやすく伝える話し方	自分の意見をまとめ、わかりやすく伝えるための構成と、そのための表現やフレーズを学びます。	新聞を読んで気になった記事を探しておきます。	自分の意見を1分間でまとめる練習を繰り返します。
第14回	模擬逐次通訳	模擬ミーティングを設定し、通訳を行います。	模擬ミーティングの準備をします。	通訳演習を繰り返します。
第15回	英語を日本語に、日本語を英語に訳す時のコツ総復習	ノートテイキングをしながらの逐次通訳やウイスポリングのコツを総復習をします。	今までの学習の復習をします。	自分なりに通訳のコツをまとめ、今後に活かします。
★授業形式・アクティブラーニング比率		講義形式とグループワークによるアクティブラーニングを組み合わせています。講義10%、アクティブラーニング90%		
★評価方法・評価基準・フィードバックなど		評価方法：平常点（授業態度、ワークへの取り組み）50% 定期試験 50% フィードバック：所定の書式を用い、学務課を通して個別に応じます。希望者は成績問い合わせ票に必要事項を記入し、学務課に提出してください。		
★テキスト		必要に応じてプリントを配布します。		
★参考文献		ありません。		
オフィスアワー(授業相談)		授業時間の10分前には教室にいます。また、火曜日と金曜日は午前中より研究室にいます。研究室か教室まで来てください。それ以外は honda-mihoko@saijo.ac.jp までお願いします。		
★学生へのメッセージ		授業計画は必要に応じて変更になる可能性があります。復習や宿題に80分は必要です。アクティブなクラスですので積極的に参加してください。積極的に参加するためには英検2級、TOEIC600点レベルの実力が求められます。		
★事前事後学習(内容・時間)		事前学習：テキストの単語を調べておきましょう。 事後学習：逐次通訳練習を繰り返し行いましょう。		

[ウインドウを閉じる](#)